

東郷池における想定最大を追加

指定避難所・ 指定緊急避難場所の見直し

近年、全国で洪水などにより従来の想定を超える浸水被害が多発しています。町では、昨年末に天神川における大規模な洪水による避難所の見直しをしたところですが、このたび東郷池における想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図が公表されたことに伴い、各避難所の見直しを行いました。

万が一に備えるため、最寄りの指定避難所、指定緊急避難場所を確認しておきましょう。

【問い合わせ】
役場総務課 (TEL 35-3115)

指 定避難所

災害対策基本法の規定により、災害で住宅を失った場合などにおいて、一定期間避難生活をする場所。町から避難勧告・避難指示が発令されたら、こちらへ避難してください。

	施設名	洪水 (計画)	洪水 (天神)	洪水 (東郷)
①	役場講堂	○	×	×
②	ハワイアロハホール	○	×	×
③	羽合小学校	○	△	△
④	羽合西コミュニティー施設	○	△	△
⑤	北浜中学校	○	△	△
⑥	ふれあいホール	○	○	○
⑦	はわいこども園	○	○	×
⑧	道の駅はわい	○	○	○
⑨	泊小学校	○	○	○
⑩	とまりグラウンドゴルフのふる 里公園クラブハウス	○	○	○
⑪	保健福祉センターつわぶき荘	○	○	○
⑫	活性化センターはまなす	○	○	○
⑬	舎人会館	○	○	×
⑭	桜コミュニティー施設	○	○	○
⑮	東郷中学校	○	○	○
⑯	文化会館	○	○	○
⑰	東郷小学校	○	○	○
⑱	花見コミュニティー施設	○	○	○
⑲	とうとうこども園	○	○	○
⑳	羽衣会館	○	○	○
㉑	国民宿舎水明荘	○	△	×

町では、町内21カ所の施設を指定避難所、77カ所（75施設）を指定緊急避難場所として定めています。災害が発生した際は、町からの避難情報をご確認いただき、指定された最寄りの避難所に避難してください。

【表説明】

表中「洪水（計画）」は、計画規模降雨による浸水想定

を示すもので、天神川や東郷池からの浸水および河川の氾濫により、受ける水害のレベルを表します。

表中「洪水（東郷）」は、こ

のほど示された、東郷池における想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を反映したものです。

表中「○」は施設全体が利用可能（浸水想定区域外または浸水深50センチ未満の区域内）、「△」は、2階以上が利用可能（浸水深50センチ以上3メートル未満）、「×」は利用に適さない施設です。

定置網漁業導入支援事業

■事業主体：鳥取県漁業協同組合

■施工業者：粕谷製網（かすたにせいもう）株式会社〔長崎県〕

■鳥取県漁協との契約日

平成30年2月5日

■内容

・土のう作製作業

平成30年3月下旬～4月上旬

・側張り作業（土のう、ブイの設置）

平成30年4月下旬～5月上旬

・網入れ作業

平成30年5月29日 網の持込み 設置準備

5月30日 運動場、袋袋設置

5月31日 導網（みちあみ）設置

・操業

平成30年6月2日

■研修

研修員 5人

研修開始 平成30年4月1日

■漁獲量（平成30年11月7日までの集計）

約79.6トン

■水揚げ高（平成30年11月7日までの集計）

約16,858千円

■朝市の開催

平成30年6月19日（火）から毎週火曜日の漁に出た日に、県漁協泊支所の荷捌き場で開催している。

毎回30人～40人のお客があり、1回の開催で4万円ほどの売上げがある。

元気海（げんきかい）の状況

事業主体（経営者）：湯梨浜振興合同会社

開 店：平成 30 年 7 月 21 日 泊漁港内にオープン

営業の概要：

泊地域に飲食店がほとんどないため、地域活性化の一助となることも考えて事業開始。客層の 6 割くらいは泊地域住民で、休日に県内や岡山、島根など近県からの利用もある。経営者が事業展開している陸上養殖事業で生産しているヒラメの新鮮な刺身を使った丼ぶりなどをメニュー提供している。今後は健康メニューの提供も予定している。

補助事業：

食堂の建設は、平成 29 年度もうかる 6 次化農商工連携支援事業により補助金を受けて整備。

メニュー：ひらめ丼、元気丼（ひらめの漬け丼）など

鳥取県栽培漁業センター 概要

沿革

1981年(昭56)	『鳥取県栽培漁業センター』開設。施設内に『鳥取県栽培漁業試験場』と『財団法人鳥取県栽培漁業協会』を配置。※業務内容：栽培漁業分野
1989年(平成元)	水産試験場と統合し『水産試験場栽培漁業部』に改名。 ※業務内容：栽培漁業分野に加え、沿岸・内水面・養殖漁業分野にも業務を拡大
2003年(平成15)	水産試験場から分離。『栽培漁業センター』に改名。
2009年(平成21)	水産試験場と統合し、『水産試験場沿岸漁業部』に改名。
2011年(平成23)	水産試験場から分離。『栽培漁業センター』に改名。
2012年(平成24)	公益法人制度改革により(財)鳥裁協は『公益財団法人鳥取県栽培漁業協会』に移行発足。

組織構成

【鳥取県栽培漁業センター】

所長 1人	総務担当	4人 (うち3人非常勤)
	養殖・漁場環境室	8人 (うち4人非常勤)
	増殖推進室	12人 (うち7人非常勤)
	試験船 おしどり	2人
	合計	27人

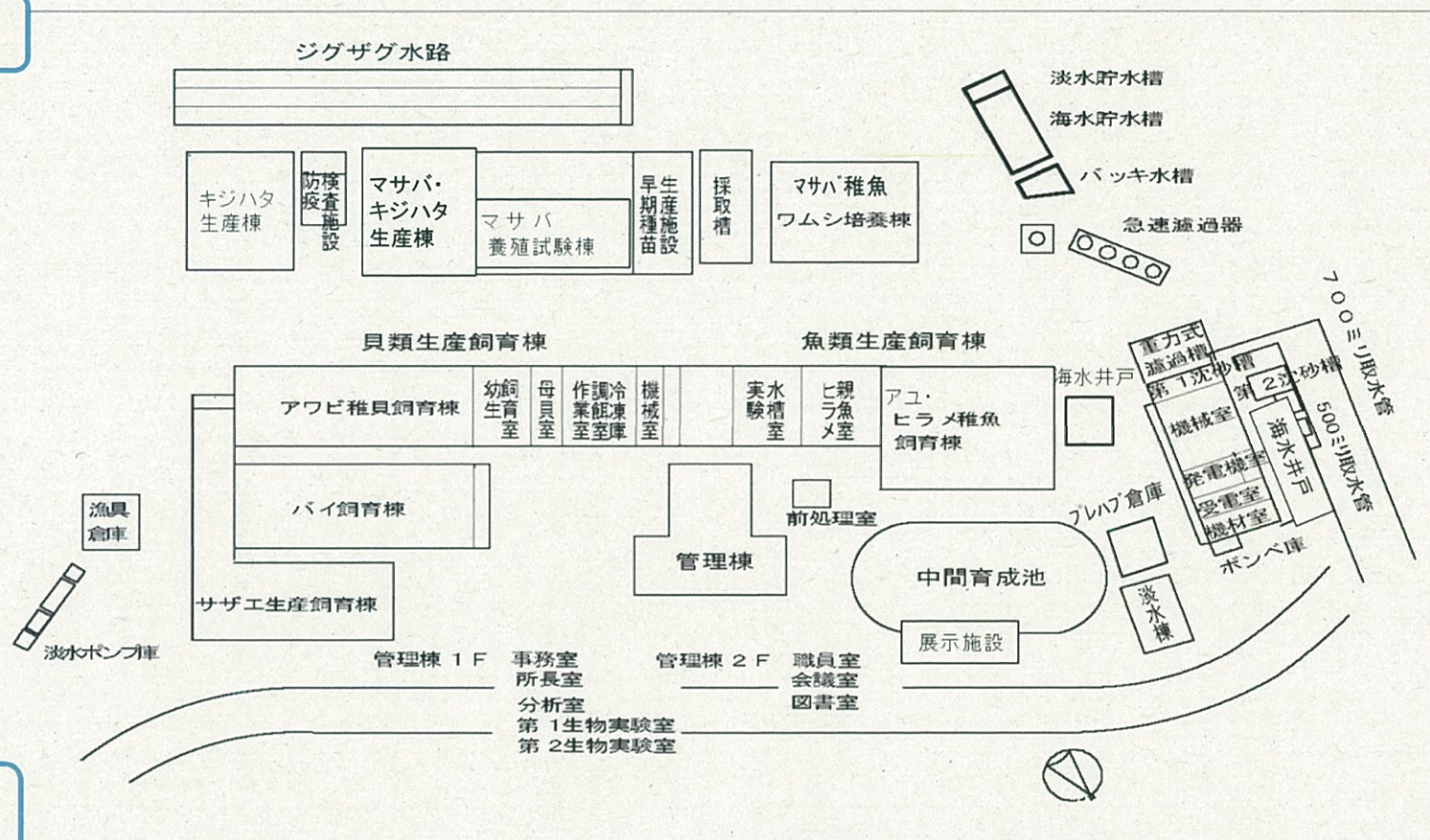


【公益財団法人 鳥取県栽培漁業協会】

専務理事 1人 (事務局長兼務)	総務課	2人 (うち1人県職併任・うち1人非常勤)
	生産課	11人 (うち1人かにかっこ館配置・うち5人非常勤)
副理事長 1人 (センター所長併任)	合計	12人

-1- (併任・外部配置は除く)

施設配置



施設概要

敷地総面積 25,445㎡

海水給水施設:

- ・沖合取水方式(φ700mm・φ500mm各延長400m・750㎡/h)
- ・急速濾過機(150㎡/h 5基)・貯水槽(300㎡・80㎡)
- ・海水井戸(8本)

調査船

- ・おしどり (FRP製高速小型調査船 6.1ト) 【H22.取得】
- ・石脇丸 (船外機船 0.9ト) 【H25.取得】

倉庫

- ・漁具倉庫(99.89㎡)・プレハブ倉庫(30.69㎡)

主な建築物

- ・管理棟(延床面積691.92㎡)
- ・魚類生産棟(1,382.87㎡)
- ・貝類生産棟(1,990.17㎡)
- ・サザエ飼育棟(鉄骨造695.5㎡)
- ・キジハタ生産棟(鉄骨造360.4㎡)
- ・ワムシ培養棟(鉄骨造417.6㎡)
- ・マサバ養殖試験棟(178㎡)・早期生産施設(125㎡)
- ・淡水試験棟(135㎡)・防疫検査施設(91.0㎡)
- ・前処理室(30㎡)・機械棟(386.7㎡)
- ・展示施設(57.97㎡)
- ・マサバ・キジハタ生産棟(436㎡)

組織ミッション

「食のみやこ鳥取県」の魅力ある水産物の創出と持続的生産技術の提供

取り組みと役割分担

鳥取県栽培漁業センター(施設)

栽培漁業センター(県)

I つくり育てる漁業の技術開発

- ・種苗生産技術
- ・放流技術
- ・養殖技術
- ・放流海域の環境監視(ヒトデ調査 等)

II 資源管理型漁業の推進

- ・重要資源動向調査(沿岸漁業)
- ・管理手法の開発・普及
- ・漁況漁場予測・情報提供

III 収益性の高い漁業の導入

- ・新規漁業資源や漁法の開発(沿岸漁業)
- ・未利用資源の活用(海藻など)

IV 内水面漁業の推進

- ・アユ資源緊急回復試験
- ・湖山池、東郷池のシジミ調査

V 漁場環境の監視と修復

- ・赤潮、貝毒
- ・藻場の監視
- ・魚病診断、巡回指導

技術提供
業務委託

技術的な
課題

(公財)栽培漁業協会

I つくり育てる漁業の推進

- ・種苗生産・有償配布
- ・放流技術の普及指導
- ・養殖技術の普及指導
- ・藻場造成・イワガキ付着促進技術の普及指導 など

種苗配布
現場指導

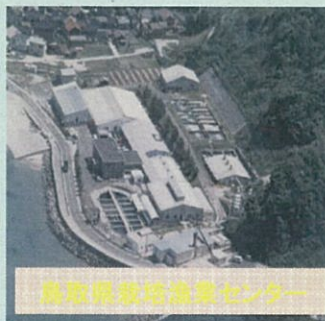
漁業者・養殖業者

I つくり育てる漁業の実践

- ・種苗放流
- ・豊かな漁場づくり
- ・養殖経営 など

支援

情報提供・技術指導



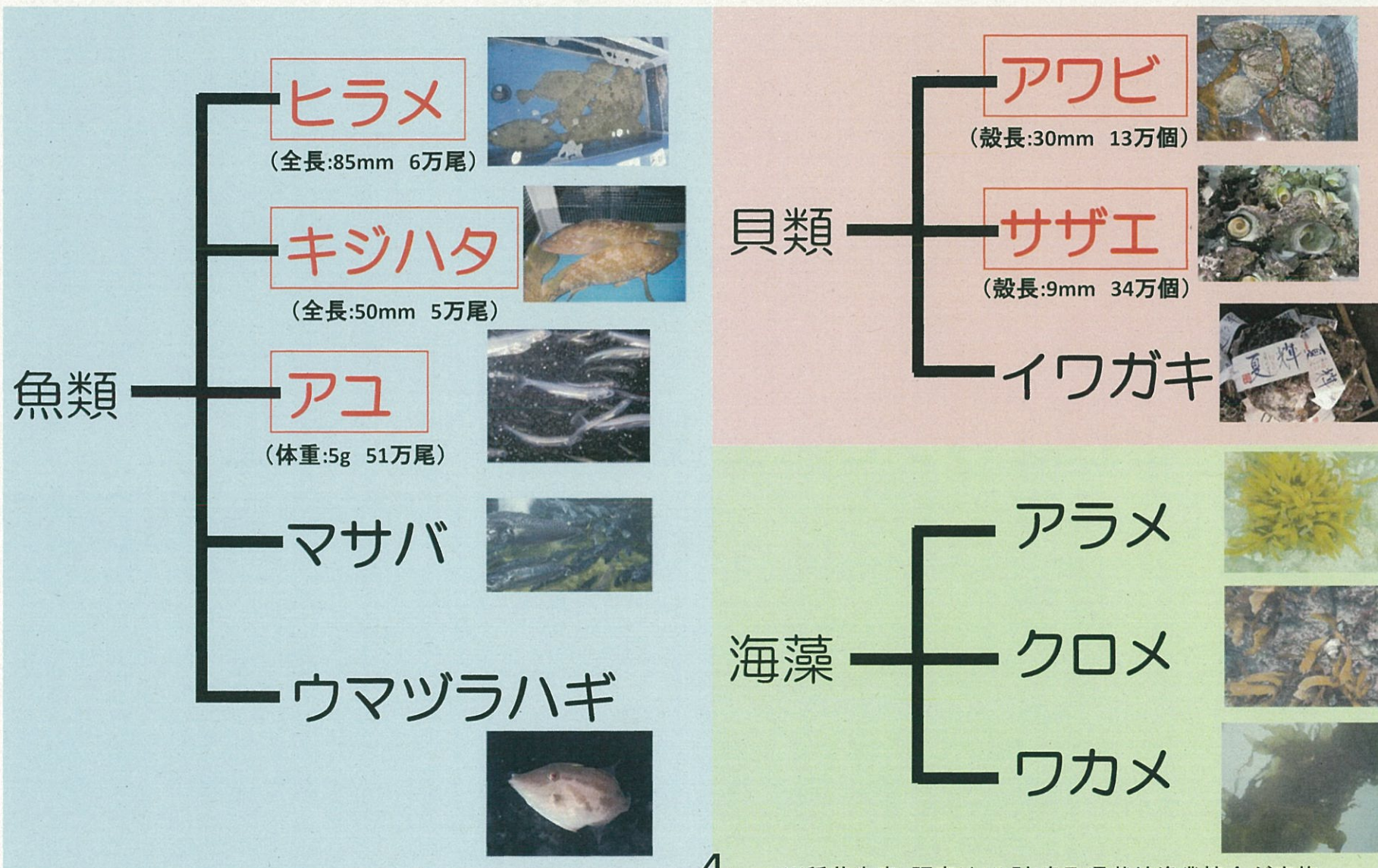
鳥取県栽培漁業センター

水産課

- 栽培漁業取り組み支援
- 漁場環境改善活動支援
- 陸上養殖起業支援 など

当センターで種苗生産している魚種

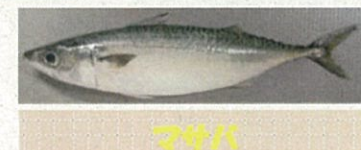
赤枠：栽培漁業の対象として放流を実施している魚種



平成30年度テーマ別試験研究課題と対象生物

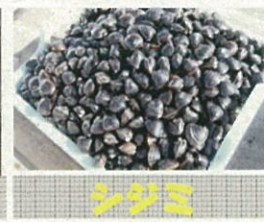
I：つくり育てる漁業（栽培・養殖）の技術開発

- ① キジハタ栽培漁業実用化支援調査（キジハタ）
- ② 美保湾ヒトデ大量発生による資源影響調査（ヒトデ・ヒラメ・パイ）
- ③ 養殖事業展開可能性調査（マサバ・ウマヅラハギ）
- ④ サケマス養殖技術支援事業（ギンザケ・ニジマス）
- ⑤ 漁港内養殖可能性調査事業（ウマヅラハギ・マアジ）



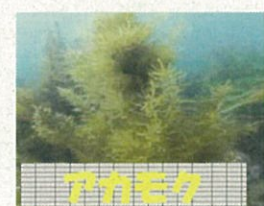
II：資源管理型漁業の推進

- ⑥ 沿岸漁業重要資源調査（ヒラメ・カレイ類・サワラほか11魚種）
- ⑦ 資源回復技術開発試験（イワガキ）



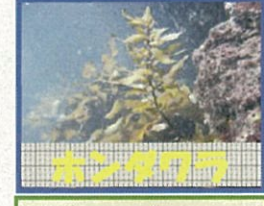
III：収益性の高い漁業の導入

- ⑧ 未利用海藻増産試験（アカモク・フサイワズタ・セイヨウハバノリ）
- ⑨ 環境に適した漁法の開発試験（サワラ電気釣り・カレイ延縄）



IV：内水面漁業の推進

- ⑩ アユ資源緊急回復試験（アユ）
- ⑪ 湖山池漁場環境回復試験（ヤマトシジミ）
- ⑫ 東郷池ヤマトシジミ資源回復試験（ヤマトシジミ）



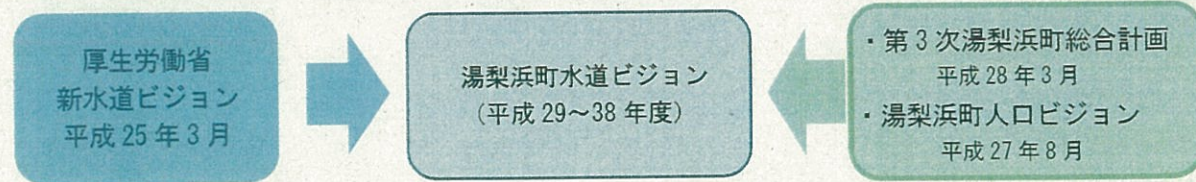
V：漁場環境の監視と修復

- ⑬ 豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業（有害赤潮・貝毒・藻場）
- ⑭ 藻場造成調査（アラメ・クロメ）
- ⑮ 魚病対策事業（養殖・沿岸・内水面漁業対象魚介類）

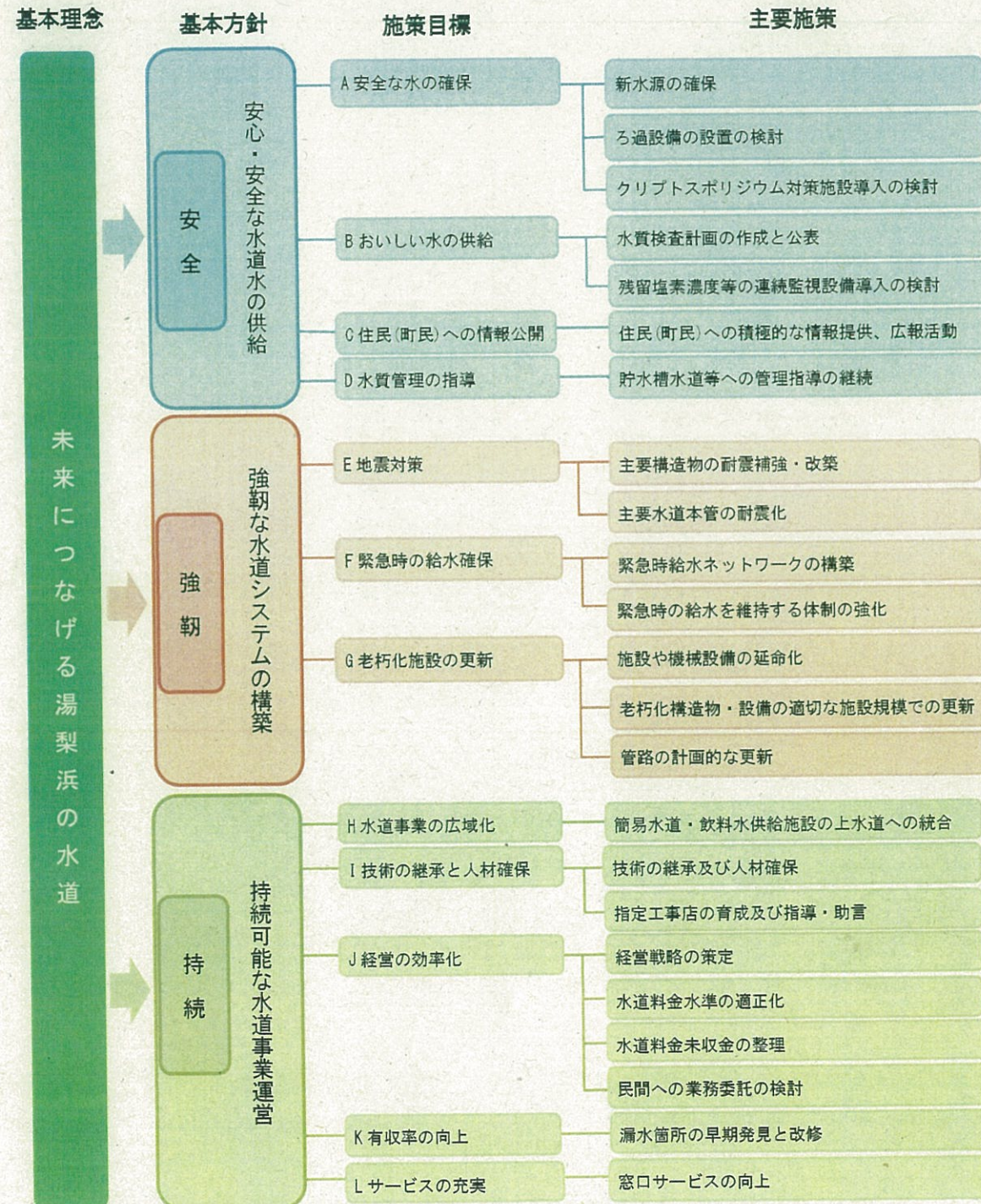


湯梨浜町水道ビジョン概要版～未来につなげる湯梨浜の水道～

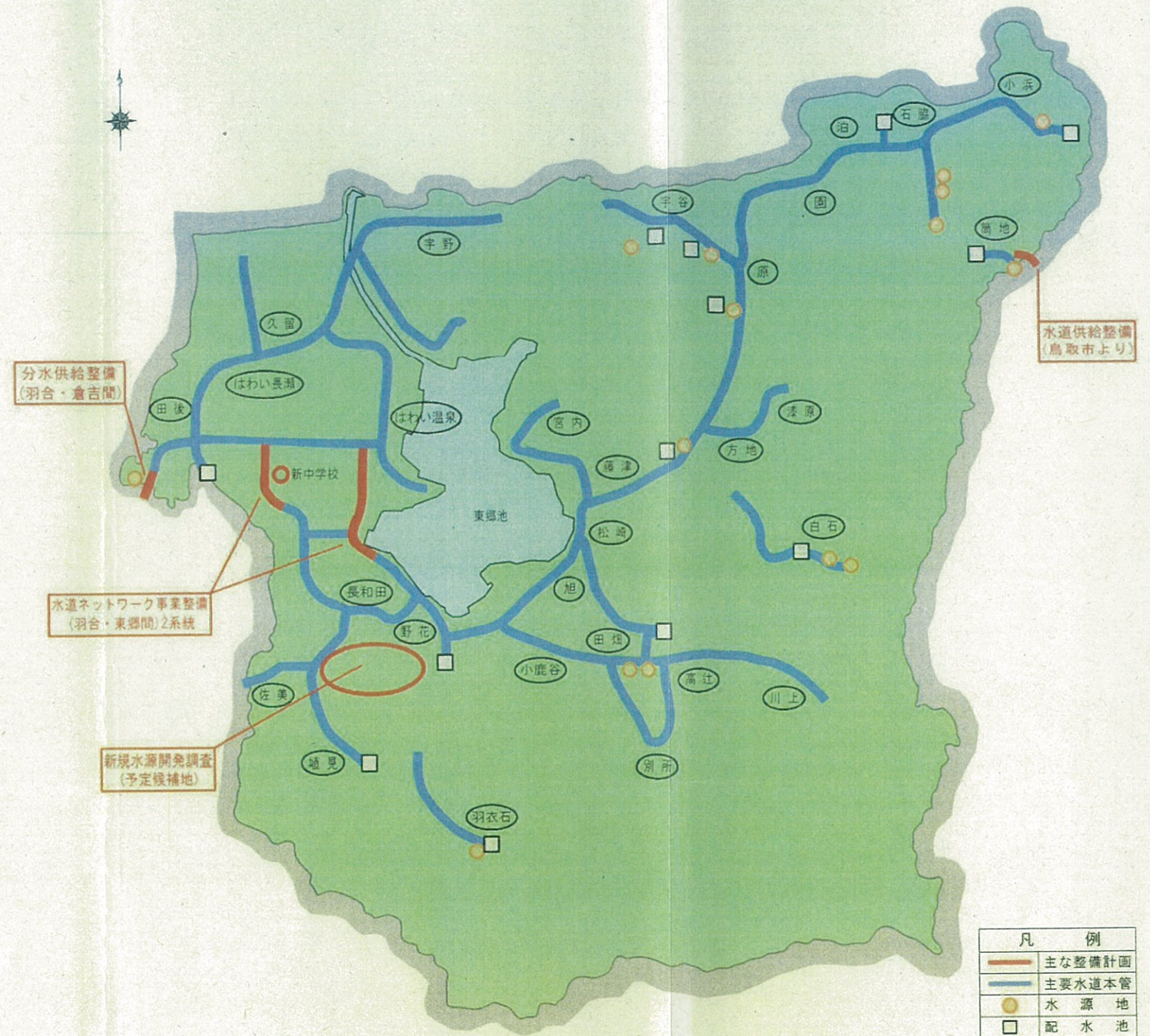
湯梨浜町水道ビジョンは、本町の総合計画である第3次湯梨浜町総合計画で示された方針を基に、平成25年に厚生労働省が策定した新水道ビジョンで掲げられた「安全」「強靱」「持続」の政策課題について水道事業が目指すべき方向性と実現のための方策を示すものです。



湯梨浜町水道ビジョンの位置づけ



湯梨浜町水道ビジョン 施策の体系図



主要な事業計画図

凡 例	
—	主な整備計画
—	主要水道本管
●	水源地
	配水池